



"燃エンウッド^B" は第9回エコプロダクツ 大賞農林水産大臣賞を受賞しました。

平成26年度木材利用推進「全国会議」

都市の大型建築への木材利用 ~事例・木の魅力、新たな課題~

2014.07.30

株式会社竹中工務店



本日の説明内容

- ①「燃エンウッド」建築の事例
- ② 大型木造建築の魅力
- ③ 新たな課題



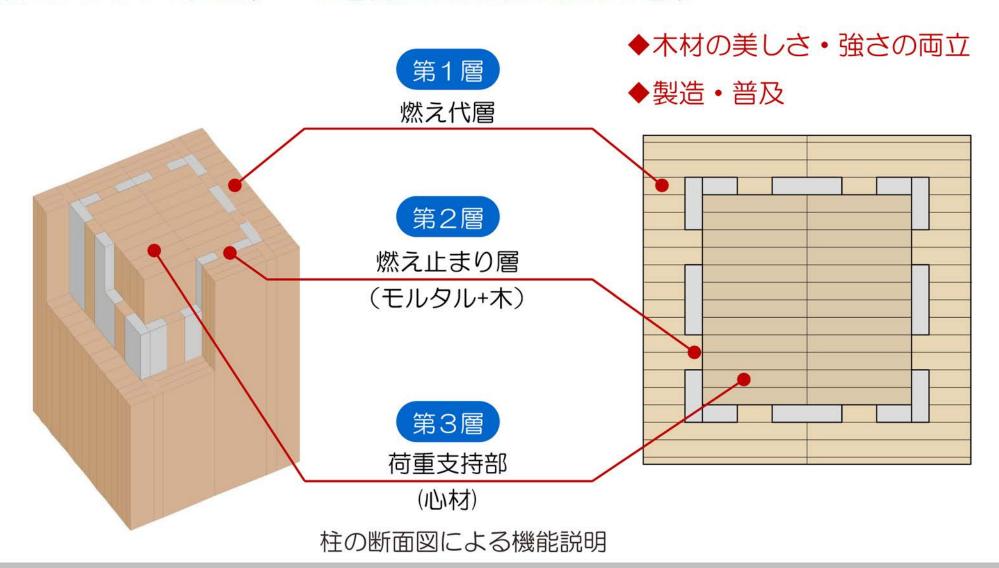
①「燃エンウッド」の事例



都市の大型建築への木材利用



燃エンウッドの仕組み ~3層構造による耐火性能の確保~



都市の大型建築への木材利用



製造方法

① ひき板によるブロック製



② 燃え代層製作



③ モルタルバーの取り付け



④ 燃え代層の取り付け



⑤ 燃え代層圧締

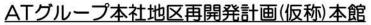


⑥ 燃エンウッド部材の完成



写真提供:齋藤木材工業株式会社



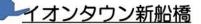




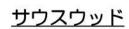
大阪木材仲買会館















横浜商科大学高等学校実習棟



ー「燃エンウッド」の事例-















新しい森林サイクルのスタート

サウスウッド® は自然豊かな港北ニュータウンに相応しく、地域に貢献できる施設を目指し計画されました。カラマツ原木約2000本を用いて製作された170本の燃エンウッド®の採用は、**国内の森と都市をつなぐ新しい森林サイクル**をスタートさせています。

葉 主 横浜都市みらい

建物用途 商業施設・事務所

建 築 地 横浜市都筑区茅ケ崎中央6-1

階 層 地下1 階、地上4 階

建築面積 2,941.73 m

延床面積 10,874.33 m

設 計 E.P.A環境変換装置建築研究所

構造設計:竹中工務店設備設計:総合設備計画

施 工 竹中工務店

期 2012年7月~2013年9月





大阪木材仲買会館

都市の中の森をつくる

都市部での木材利用は、縮小す る日本の林業の活性化に寄与するとともに、建物の利用者だけでなく街にも安らぎを与え、これからの「人と木と都市の関わり方」を示 す手掛かりになると考えます。当 建物は、都市密集地域において コンクリートと鉄の街"を"木の 条"に変えるビルディングモデル を追求しました。

主 大阪木材仲買協同組合

物用途 事務所

地 大阪市西区南堀江4-18-10

層 地上3階 建築面積 453 m²

延床面積 1,032 m 設計・施工 竹中工務店

期 2012年7月~ 2013年3月









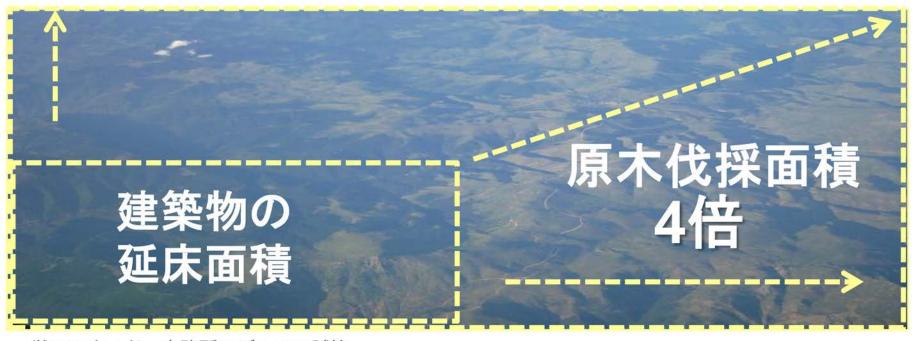




② 大型木造建築の魅力



都市を森に変える ⇒ 延床面積の4倍の森林を利用・固定



燃エンウッド 事務所モデルでの試算



規 模 :地下なし 地上4階 塔屋なし

建築面積: 716.07m²

延床面積: 2,850.03m²

木造化率:55%

サスティナブルな素材 (森林サイクルの活性化による環境への貢献)



次世代の 森林育成

写真出典:農林水產省四国森林管理局HF



適切な計画に基づく植林

写直出典:農林水産省東北森林管理局HP





CO₂の 吸収量が多い

写真出典:農林水産省四国森林管理局HP



CO₂の吸収量が減少 した樹木の伐採

写真出典:林野庁HP



CO2の削減

木造耐火建築 事務所モデル(木造化率55%) 約3,000m²の木造建築と鉄筋国リート造建築でCO₂削減量を比較

削減効果① 削減効果② 削減効果③ トータル RC造新築時 削減量差引後 RC部材と 新しく植えた木が 木材の中に蓄え CO2排出量 CO2排出量 られたCO2 吸収するCO2 木部材の差 173 t-CO₂ 109 t-CO₂ 433 t-CO₂ 716 t-CO₂ 20%ダウン 木造新築時 CO2排出量 森林サイクル の効果! 3,311 t-CO₂ 3,484 t-CO₂ 2,768 t-CO₂



木造建築の資産特性

木造建物は非木造建物に比べて 原価償却が早い。

※固定資産税評価額の算定時に勘案する「経年原点補正率」の低下が早いことから、 非木造建物より早く下限値の0.2に達するの が一般的です。





大型木造建築は環境・経済・社会をつなぐ新たな建築



③ 新たな課題

木造建築の適用範囲の拡大

1時間耐火 ⇒ 2時間耐火

市場規模

近10年間の当社の施工物件において

・ 5階建て以上の建築の床面積は66%を占める

都市の大型建築への木材利用



部材の規格化

燃エンウッドの1時間耐火大臣認定の認定範囲

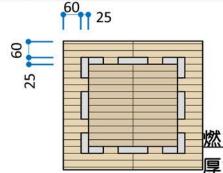
名称			カラマツ集成材
材質	荷重支持部(心材)		カラマツ(JAS材)
	燃え止まり層		カラマツ+モルタル
	燃え代層		カラマツ
耐火性能			1時間耐火構造大臣認定取得
柱	寸法 (mm)	心材	300~500×300~1,050
		外寸	470~670×470~1,220
	支持 荷重	最大寸法時	4,500kN程度
		最少寸法時	770kN程度
梁	寸法 (mm)	心材	150~500×450~1,050
		外寸	320~670×515~1,135
	最大スパン		9.4m程度

大断面集成材の荷重支持部の サイズを規格化

- ・ 準耐火と同規準
- 他耐火集成材と同規格



集成材の市場ストック化 (施工時のリードタイム削減) コスト低減



<u>燃え代層・燃え止まり層</u> 厚さ共通



大型木造建築の認知向上

市街地の大型木造建築が可能であること

不安イメージの払拭(火災や地震に強い) ⇒ 頭では解っているが・・・

前例が少ない ⇒ 事例の増加

具体的なメリット



広く国民にPR

環境との共生

各企業・各個人が美しい日本 各地域の恩恵を受けていることを 改めて自覚すること



ありがとうございました